

# いじめを「しない」「させない」「みのがさない」

学校教育・家庭教育の原点「愛情をもって育てられれば、夢と愛をもつ大人になる」

## いじめの定義（いじめ防止対策推進法第2条より）

「いじめ」とは、児童等に対して、当該児童等が在籍する学校に在籍している等当該児童等と一定の人間関係にある他の児童等が行う心理的又は物理的な影響を与える行為（インターネットを通じて行われるものを含む。）であって、当該行為の対象となった児童等が心身の苦痛を感じているものをいう。



穂波庁舎前モニュメント

いじめは、どの学校でも、どの子にも起こり得る問題です。いじめを早期に発見するために、子どもの小さなサインを見逃さず、厳しく温かい心で見守りましょう。

## 「いじめ」のサイン発見シート（いじめられている子のサインをキャッチ）

朝（登校前）	夕（下校後）	夜（就寝前）	夜間（就寝後）
<input type="checkbox"/> 朝起きて布団から出てこない。 <input type="checkbox"/> 朝になると体の具合が悪いと言ひ、学校を休みたがる。 <input type="checkbox"/> 遅刻や早退が増えた。 <input type="checkbox"/> 食欲がなくなったり、だまっで食べるようになる。	<input type="checkbox"/> 遊びの中で笑われたり、からかわれたり、命令されたりしている。 <input type="checkbox"/> 親しい友達が遊びに来ない。 <input type="checkbox"/> 勉強しなくなる。集中力がなくなる。 <input type="checkbox"/> 携帯電話やメールの着信音におびえる。 <input type="checkbox"/> 家からお金を持ち出したり、必要以上のお金をほしがる。	<input type="checkbox"/> 学校や友達の話が減った。 <input type="checkbox"/> 表情が暗く、家族との会話も少なくなった。 <input type="checkbox"/> ささいなことでイライラしたり、物にあたりたりする。 <input type="checkbox"/> パソコンやスマホをいつも気にしている。 <input type="checkbox"/> 理由をはっきり言わないあざや傷跡がある。	<input type="checkbox"/> 寝つきが悪かったり、夜眠れなかったりする日が続く。 <input type="checkbox"/> 服が汚れていたり、破れていたりする。 <input type="checkbox"/> 学校で使う持ち物がなくなったり、壊れたりしている。 <input type="checkbox"/> 教科書やノートに落書きされたり破られたりしている。

## 「いじめ」をしていませんか？

いじめの側になっていると、次のようなサインが出ていることがあります。

- 言葉遣いが荒くなる。
- 反抗的な態度をとる。
- 買った覚えの無い物を持っている。
- 小遣い以上のお金を使っている。

## 家庭において努めたいこと

- 子どもと過ごす時間をつくる
  - ・食事の時間や就寝前などの時間を利用して、学校の話や友達、将来について話す時間をつくりましょう。
- 子どもの様子にアンテナを張る
  - ・子どもが今、何に関心をもっているか、どんな勉強の仕方をしているか、読んでいる本や、学習ノート等を見る機会をもちましょう。
- 大人同士の関係をつくる
  - ・学校行事やPTA活動、地域の行事等に積極的に参加し、保護者同士、大人同士の関係をつくりましょう。

## 飯塚市の学校での取組

- いじめについての共通理解のために
  - ・全校集会や学級活動を通じて「いじめは人間として絶対に許されない」との雰囲気を学校全体につくり出す。
- いじめに向かわない態度・能力の育成のために
  - ・道徳教育や人権教育の充実、体験活動の推進、子どもの社会性を育成するためのソーシャルスキル・トレーニング「SEL-8S」の実施。
- 自己有用感や自己肯定感の育成のために
  - ・子どもが主体的・協働的に学ぶ学習形態である「協調学習」の推進。
- 児童生徒自らがいじめについて学び、取り組む力の育成のために
  - ・友達の大切さ、ネットモラル等について児童生徒自ら討議する「いづか小学生の討論会」「飯塚中学生会議」の開催。
- いじめの早期発見のために
  - ・日常の学校生活でのきめ細かな観察、生活ノート等での個々の子どもの状態の把握、定期的な教育相談やアンケートの実施。

## 関係機関の連絡先

心配なことがあれば、まずはご相談ください。

- ・市教育研究所（相談室）  
（飯塚市教育委員会）  
☎0948-22-0380  
（内線2415）
- ・子どもホットライン24  
（筑豊教育事務所）  
☎0948-25-3434  
※24時間対応
- ・少年サポートセンター  
（ハートケアいづか）  
☎0948-21-3751

# 飯塚市がめざす教育 No.6

## 飯塚市学校教育プラン



小学校におけるオンライン英会話学習



サンニール市との交流（中学生海外派遣事業）

平成28年4月 飯塚市教育委員会

# 飯塚市の教育施策

# 飯塚市の子どもたちの未来のために…

**飯塚市がめざす教育**  
 ～未来の飯塚市を担う「かしこく」「やさしく」「たくましい」子どもの育成～

「かしこく」「やさしく」「たくましい」子ども

## 学力の向上

- ICT教育の推進
  - ・モデル校によるタブレット・電子黒板の活用
- 徹底反復学習の実施
  - ・陰山メソッド、小河式学習プリントの活用
  - ※陰山英男氏・小河勝氏との連携
- 協調学習の推進
  - ・知識構成型ジグソー法 ※東京大学との連携

## 人権教育の推進

- 飯塚市学力生活実態調査結果を踏まえた人権・同和教育の一層の推進

## 学校危機管理の徹底

- 学校安全の日の取組の充実
- 学校危機管理マニュアルに基づいた体制の充実・深化

コミュニケーション能力・コラボレーション能力・イノベーション能力

後期  
(中2～中3)  
実践力の育成

中期  
(小5～中1)  
思考力の育成

前期  
(小1～小4)  
基礎力の育成

## 体力の向上

- 新体力テストに基づいた取組の充実
- ・スポコン広場への積極的参加
- 健康教育の充実
- ・食育の充実
- ・「早寝・早起き・朝ごはん」の徹底

## 豊かな人間性の育成

- 国際教育の推進
  - ・サニーバール市との交流
  - ・小学校「オンライン英会話」の導入
- 道徳教育の充実
- 体験活動の推進
- 社会性の育成のためのSEL-8Sの推進
- ※福岡教育大学（小泉令三氏）との連携

## 生徒指導の充実

- いじめの未然防止・早期発見・早期対応
- 不登校の予防・不登校生への対応の充実
- 教育相談機能の向上
  - ・スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーの活用

## 小中一貫教育の推進

- 全中学校区での小中一貫教育の取組の推進

## 学社連携の推進

- コミュニティー・スクールの推進
- 熟年者マナビ塾、子どもマナビ塾の連携強化と活用促進
- 放課後子ども教室との連携

## 特別支援教育の充実

- 多層指導モデルMIMの充実
- ※国立特別支援教育総合研究所（海津亜希子氏）との連携

## 発達障害の可能性のある児童生徒に対する早期・継続支援事業の成果

飯塚市では、平成26年度から、文部科学省の委託を受け、「発達障害の可能性のある児童生徒に対する早期・継続支援事業」を推進してきました。9年間を見通した早期の段階で、子どもがつまづく前、またはつまづきが深刻化する前に、楽しみながら読みの力を育ていくプログラム“多層指導モデル「MIM」”の指導を中心に、通常の学級において、学習面、特に「読みの力」に関して特別な教育的ニーズのある子どもが理解しやすいよう配慮した授業等、指導方法の工夫改善を行っています。

これまでの取組により、下の表の通り、子どもたちの国語力、特に「読みの力」の向上が見られております。今後も、指導方法の改善、関係機関との連携等、早期に支援できる体制をより充実させたいと考えております。



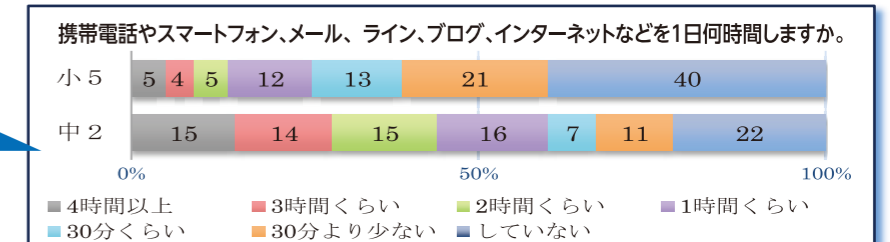
第2学年 NRT学力検査結果	23年4月 (MIM実施前)	24年4月 (MIM1年目)	25年4月 (MIM2年目)	26年4月 (MIM3年目)	27年4月 (MIM4年目)	
国語(偏差値)	52.5	53.5	53.5	54.4	54.9	
全国比	話す聞く	105	107	109	110	111
	書く	108	106	106	108	109
	読む	108	113	113	115	121
	言語事項	106	109	108	112	112

## 飯塚市学力・生活実態調査報告書 (H27.3月) より

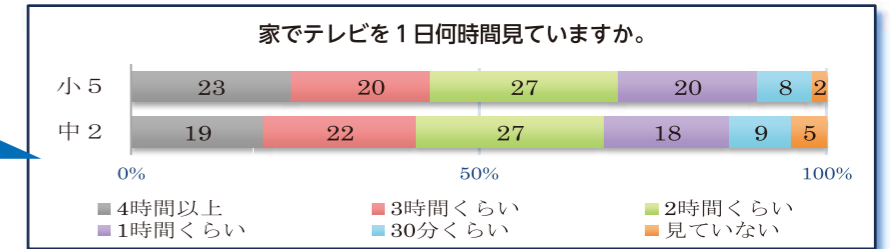
飯塚市教育委員会では、平成26年度に小学校5年生と中学校2年生を対象に、「学力・生活実態調査」を実施し、報告書を作成しました。

学力検査結果と次のような生活実態調査結果を照らし合わせて相関関係を見ていきました。

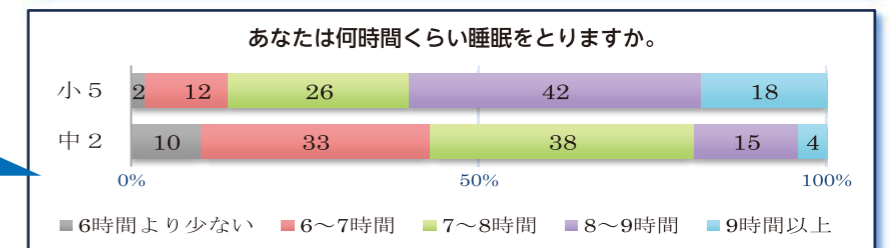
小中学校ともに学力が下がるにしたがって携帯電話やスマートフォンを長い時間使用している傾向がありました。



テレビを見る時間が長い児童生徒は学力が低いという状況がみられました。



学力が低いほど睡眠時間の短い子どもの割合が高くなる傾向があります。中学校では7～8時間の睡眠時間をとっている生徒に学力が高いという傾向が見られました。



中学校の高学力を除いて、睡眠をきちんととる子どもの方が学力が高い傾向にあります。また、テレビ、ゲーム、ケータイ・スマホなど、いずれも長時間のメディア接触が睡眠不足・学力低下と関連していることは明白です。  
**学力向上には、学校だけではなく、家庭と連携した生活時間改善の取組が必要です。**